

総合エネルギー統計検討会について

総合エネルギー統計は、我が国の国内のエネルギーフローを1枚の表に表したものの。

改訂に当たっては、総合エネルギー統計検討会を開催。

総合エネルギー統計検討会

総合エネルギー統計の改訂案を専門家が検討・評価。

エネルギー自給率や石油依存度等の基礎的なデータの提供

エネルギー需給動向のデータの提供

エネルギー起源CO2排出量に関するデータの提供

エネルギー政策の企画・立案

国際エネルギー機関への報告

国連(気候変動枠組条約事務局)への報告

検討会開催状況

2004年3月から2007年3月にかけて7回開催。(書面開催含む)

<主な議題>

- ①エネルギー転換部門のエネルギー・炭素物質収支の改善
- ②業務他部門等の最終エネルギー消費の推計方法
- ③標準発熱量・炭素排出係数の改訂

各検討会の議題は、参考資料1参照。

資料 1（別紙）

「総合エネルギー統計検討会」の開催について

1. 趣旨

総合エネルギー統計（エネルギーバランス表）は、我が国のエネルギー需給の実態を定量的に明らかにするもの。昭和28年以来、エネルギー政策立案やエネルギー需給に関する情勢判断等に資するものとして、各種一次統計等を基に作成する加工統計（国際エネルギー機関への我が国のエネルギー需給実績の報告や国連気候変動枠組条約事務局へ報告するエネルギー起源 CO2 排出量の算定にも活用）。

国連気候変動枠組条約事務局への CO2 排出量報告への活用等、当該統計を巡る状況変化を踏まえ、統計の一層の精度向上、透明性の確保の観点から、平成16年以降、当該統計の改訂に際しては、検討会を開催し、エネルギー工程等に知見を有する専門家による検討・評価を実施してきているところ。

今般、当該統計全般に影響を与える①エネルギー源毎の標準発熱量及び炭素排出係数や②エネルギー消費量の推計について、統計の精度向上のため、最近の調査を踏まえ見直しを実施し、京都議定書第一約束期間後の2013年度実績から適用を開始すべく、その改訂案の検討及び評価を実施することを目的として検討会を開催する。

2. 議題

（1）標準発熱量及び炭素排出係数の改訂について

エネルギー源毎の標準発熱量及び炭素排出係数について、最新の試料調査等に基づく標準発熱量及び炭素排出係数の改訂案について、検討及び評価を実施する。

（2）エネルギー消費量の推計方法の改訂作業について（中間報告）

産業部門中の「非製造業部門」、「他業種・中小製造業」、民生部門中の「業務他」のデータについては、従来、産業連関表と経済活動別 GDP を用いて推計してきたところ。2013年度確報公表時を視野に、当該部門のエネルギー消費量について、エネルギー消費統計調査のデータを用いた推計方法に改訂する予定であるところ、その作業状況等について報告を実施する。

3. 今後の検討会のスケジュール案

第1回検討会　　9月12日
（標準発熱量・炭素排出係数見直し等）

第2回検討会　　開催日程については別途相談させていただきます。
（エネルギー消費統計を踏まえた統計全体の見直し等）

4. 検討会の公開について

検討会の資料及び議事要旨については、会議の終了後、経済産業省ウェブサイトにて公開する。なお、個別の事情に応じて、会議及び資料を非公開にするかどうかについての判断は、座長に一任するものとする。